

平成 23 年 5 月 3 日

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 御中

仰木の里東二丁目自治会	防火防災委員	<input type="text"/>
	自治会長	<input type="text"/>
commonsステージ仰木の里自治会	防火防災委員	<input type="text"/>
	自治会長	<input type="text"/>

要望書

「幸福の科学学園建設用地に関する地質調査書等の提供の要望」

去る平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で、丘陵地の宅地造成の地滑りが盛り土および切り盛り境界部分に集中し、国土交通省のまとめでは東北・関東の 9 県で大震災による地盤の被害状況は調査対象の家屋 4297 軒のうち危険・要注意と判断された家屋は 60%を超えていることをご存じのことであると思います。(朝日新聞朝刊 平成 23 年 5 月 1 日第 3 面記事より抜粋)

私たちの住む仰木の里も花折断層や琵琶湖西岸断層帯による地震災害の影響を受ける可能性があり、災害対策として自主防災の活動を活発に行っているところではありません。雄琴の丘陵地の一部である仰木の里東地区は地滑り多発地帯でもあります。土地の改良および地盤の安定を図るためにも地質調査のデータから安全性の確認が重要となります。

貴社が今回幸福の科学学園建設用地として売却した土地は、隣接する東二丁目全体の防災に大きく関わることから、本件土地の造成前後の地質調査データなど、一連の記録(画像を含む)をご提供していただきたく存じます。

なお、ご回答は書面にて頂きますようお願い申し上げます。